

新年ごあいさつ

今年も楽しく元気で活動しよう

会長 合原一夫



平成も早や29年となりました。平成28年、わが大阪ムービーサークル（OMC）は、いろんな面で活発に活動できた年ではなかったかと思っております。第一に丹波篠山全国コンに5年連続グランプリを、OMC会員たちが獲得したことは、全国的に見ても初めての快挙でなかったでしょうか。残念ながら今年は逃して6年連続とはなりませんでしたが…。

例会場の大阪市立市民学習センターの春のセンター祭に、OMCとして初めて参加して好評を得たことで、次の駅前映画館への参加呼びかけにつながり、講堂が無料で使用でき、しかもリバイバルも含めて発表の機会が増えたことは、アマチュア映像人間として喜ばしい限りです。

東大阪は最先端をいく町工場の多い町ですが、そこで工場を経営されている野田会員の会社で、撮影会が行えたことは、大変有意義な催しでした。作品が11本も出て盛会だったことが伺えます。その他、「草」をテーマとした課題コン、美山一泊撮影会等、楽しい催しも昨年と同様継続実施されました。一方、インターネット等による広報活動も坪井氏、前田氏、進藤氏のご努力で軌道に乗り、昨年は新人会員3名が増えました。惜しむらくは、上総氏の死去、黒田先生の予期せぬ退会、健康上の問題で上田、鐵具両名の退会が続いたことです。

ともあれ、大阪ムービーサークルは楽しく活気ある会であることを積極的に世間にアピールし、まずは新人の入会者を増やすことを今年の一つの目標にしたいと思います。本年もどうぞよろしく願いいたします。

※写真は2016年12月例会

1月例会のお知らせ

■第2例会：第3木曜日：1月19日13時より

難波市民学習センター（OCATビル4階）

特に助言を受けたい作品、往年の懐かしの作品等ご持参ください。残った時間は参考作品上映。

■通常例会：第4土曜：1月28日13時より

難波市民学習センター（OCATビル4階）

一般作品上映後、総会と表彰式を行います。

■新年会のお知らせ

総会終了後、席を5階のレストランへ移して新年会を開催。

- ・出欠ハガキ未提出者2名おられます。至急出欠ご返事を。
- ・会費5千円は会場にて受付けます。楽しい集い・乞うご期待

平成28年度 例会記録

毎年、年末に今年一年間の例会をふりかえって、前年度、前々年度等過去を比べてどうだったのかを調べて発表しています。今年は、大阪ビデオクラブと合併し、そのため奇数月に第2例会を開いていますが、その第2例会はスタートしたばかりですので、まずは従来通りの通常例会の実績を調べてみました。

■最近5年間の例会記録

年度	会員	出席者	出品数	作品数
H24	36	22.8	13.1	166
H25	36	21.4	12.6	163
H26	36	22.8	13.4	176
H27	40	24.4	14.0	181
H28	38	22.9	13.0	187

注1) 出席者数及び出品数は通常例会の1例会当たりで、それぞれ(人)、(本)です。

これはコンテスト作品、第2例会作品は含まず。

注2) 総作品数は、第2例会を除く各種コンテスト出品作を含む合計本数で次の通りです。

- ①ミニ撮影会コンテスト 9本
- ②課題コンテスト 11本
- ③撮影会コンテスト 11本
- ④通常例会出品数 156本 計187本

ちなみに、第2例会は研究会や参考作品上映会、そしてコンテスト作品公開審査等の時間に費やしますので、一般作品の上映時間は限られます。それでも7回開催で、一般作品は28本、参考作品5本という実績が残りました。

出席者14.9人、出品数4.7本

■通常例会、年間総出席者

- ・12回出席者：江村、紙本、進藤、関、高瀬、前田、華岡、森下の8氏。
- ・同11回出席者：有村、稲田、合原、坪井、山本の5氏
- ・同10回出席者：赤澤、河合、柴辻、宮崎、森口の5氏

以上、例会を盛会に盛り上げて下さった方々に謝意を表し、総会の席上で記念品を贈呈いたします。

■通常例会、最多出品者

- ・13作品出品者：江村、前田
- ・12作品出品者：河合、高瀬、紙本、華岡、
- ・11作品出品者：有村、山本 以上の8氏

毎回楽しい作品を多く出品して下さっている皆様に拍手と共に感謝の気持ちを込めて、総会の席で記念品を贈呈いたします。

■新入会員のご紹介

中村幸子さん、京都市在住（会員専用ページに記載）

よろしく願いいたします。

■退会者

- ・黒田敏彦さん 都合による
- ・上田吉巳さん 健康上の理由による
- ・鐵具義夫さん 健康上の理由による

どうぞお大事になさってください。

12月通常例会レポート

例会日の24日はクリスマスイブの日。若い人たちの多い会だと、例会どころでは無いかも知れませんが、そこは熟年者の多い会ゆえ、クリスマスもあまり関係ないようで、いつもの例会通り、賑やかで楽しい例会となりました。

この日幹事さんには、年度賞選定のため13時から、一般の世話役さんには、来年度の役割分担、会計報告、撮影会の

件などの議題で15時から集まって会議に出席して頂き、引き続き夜の例会へと進みましたので、お疲れ様でした。さすが師走の例会で、外は寒い日でしたが、会場は暖房が効いており、良い室内環境の下で例会が行われました。

本日、新入会希望者が出席され、前半の上映を見て、早速正式に入会の手続きをとって頂きました。京都嵯峨野にお住いの中村幸子さんです。どうぞよろしく願いいたします。

今月の司会は柴辻氏、書記、合原氏、上映、井上、坪井、河合の各氏、パソコン録画、江村氏、受付兼照明係には森下、宮崎の両氏、ホワイトボード掲示は紙本氏の各担当で進行しました。

■**出席者**：有村、井上、稲田、江村、岡本、紙本、河合、合原、柴辻、進藤、関、高瀬、坪井、西村（光）、野田、華岡、前田、宮崎、森口、森下、吉岡、山城、弓取、中村（新入会者）以上24氏。

■**上映作品**（今月の講評は合原会長）

1. たぬきをつくる職人さん（BD） 前田 茂夫 6分45秒

一昨年のOMC信楽撮影会のあと、撮り足しに再び信楽撮影に行かれ、たぬきの焼きものをつくる工程をくわしく撮られています。かなり手間のかかる工程のようです。とびこみで撮られたので工程の一部だけでインタビュー等ありませんが、さすが前田さん、要所をきちんと撮られていて判り易い。BGMがベターツとした感じで、このような緊張感のあるテーマには合わない様に感じました。

2. 富木八朔祭・宮入り（BD） 河合 源七郎 9分52秒

能登富木八幡神社のお祭りの様子を描かれています。河合さんの能登の祭りシリーズはまだまだ続くようです。普段人口が少ない筈の能登の祭りの時だけは、人があふれんばかりの賑やかさです。“オラが祭りだ！”といった心から楽しんでいる雰囲気伝わってきます。夜のシーンも多く撮られていますが、撮影もご苦労さんでした。

3. 設楽の里に鬼が舞う（BD） 高瀬 辰雄 10分42秒

愛知県奥三河にある15の集落が集まって伝統ある祭りを撮影してこられました。鬼の面を被った男達が神殿で舞ったり猿田彦が舞ったり、湯を掛け合ったり、かまど回りを夜を徹して舞う等、伝統行事らしき所作が続きます。これらの行事を後世に伝えていくのも大変だろうなあと思います。ところでラストシーンでBGMがフェードするのは、如何にも手抜きしたようでいただけません。ラストははっきり画面と音楽の終わりを合わせるようにしては如何ですか。

4. 貴船の御火焚祭（BD） 森口 吉正 10分20秒

京都貴船神社で今年の秋撮影されたもので貴船川の源流から出発されています。そのきれいな水の流れ、その流れの音が効果的で印象に残りました。現録の効果を活かす箇所にはBGMを入れてはいけない、というお手本のような作品です。護摩焚きの場面が少し長いので10分以内の作品に縮めては如何か。

5. ピレネー国立公園（BD） 華岡 汪 10分24秒

フランスとスペインの境界にあるフランス側の公園で撮影されたもの。自然の景観の素晴らしさを堪能させてくれます。多様な動植物にも恵まれてフランス最古の自然公園だそうです。楽しく拝見しました。

6. THE BLUE ブルー（BD） 坪井 仁志 5分20秒

航空自衛隊のブルーインパルス。奈良平城京の真上の青空で、白い絵の具を刷毛で塗っていくよう。軽快なBGMと共に場所の対比が面白い（関氏談）しゃれた作品でした。

7. 根日女物語（BD） 紙本 勝 9分35秒

兵庫県は播磨の国、賀毛の里に玉丘古墳群の中に、根日女を祈られた墓があり、そこにははかない恋の話が秘められていました。作者はいつもの健脚を活かして現地へおもむき、取材してこられました。ネットで調べて行かれたようです。そのご熱心さには感服しかありません。

8. ベルニナ急行 前編（BD） 関 剛 13分37秒

イタリアからスイスへの列車の旅、イタリア市内では市内電車としての扱いで山岳地帯に入ると登山電車のようにきつい勾配を登って行くという一見不思議な観光列車。BGM、ナレーション無し、テロップと現録だけの音処理ですが、かえてこの作品の印象を深めているように思いました。キーンという軋みの音や汽笛の音が耳に残っています。

9. 中野奴振りの内尾神社祭り (BD) 進藤 信男 13分50秒

兵庫県加西市内尾神社の祭り、参勤交代の殿様行列でおなじみの奴振りの様子がここで再現されているという祭は珍しい感じ。ここにも伝統を守り継いで行く地方都市の悩みがありそうです。

10. 台風接近 よさこい (BD) 江村 一郎 8分00秒

トップシーンは荒れる海、雨風強くよさこい前夜祭は中止に。本番の日も開催が危ぶまれたが、天気は持ち直してよさこい開催。あとは普段通りのよさこい風景が展開されていました。最初、タイトルからして台風接近とあり、トップシーンに荒れる海だったので、どんな展開になるだろうと期待していたのですが、肩すかしを食った格好。ここは主催者向けの記録ではないので、作品として脚色してもいいのではないのでしょうか。荒れる天候、ゆれる樹、しかし、遠くに祭囃子の音がかすかに、しかも次第に大きく、黒い雲も少しづつ去っていく。雨のしずくも小降りになっていく、そして、祭が遂に決行へ、といった風に過去の雨の映像も効果的に使って、新しい江村作品よさこいを集大成してみたらどうでしょうか。

11. ベナレス (BD) 弓取 克彦 10分00秒

インドガンジス河のほとりにあるベナレスは、ヒンドゥー教の聖地、全国各地から信者達が集まってきて、沐浴をしたり祈りを捧げたりします。騒々しい街の雰囲気現場音と共によく伝わってきます。大変印象に残る作品でした。最後のナレーションで「どこまで続くのでしょうか」というのがありますが、何を伝えたいのか判りづらい面があります。

12. 大阪城と冬の陣跡へ (BD) 有村 博 8分30秒

おなじみNHK大河ドラマ「真田丸」にちなんで大阪城界隈を歴史探訪をされ、楽しい作品に仕上がっています。

13. 私説CM論 (アーカイブス・テレシネ) 柴辻 英一 5分00秒

テレビコマーシャルをうまく切り貼りして面白くまとめられた往年の傑作。

以上で例会を終え、それぞれ喫茶組と居酒屋組とに別れて散会しました。

■YouTubeへ作品をアップロードしてみませんか (再)

作品を例会以外で見ただけ方法の一つにYoutubeへアップロードしてOMCのホームページにリンクして載せる方法があります。その方法は下記からみられます。(前田・坪井記)

下記のリンクから入って下さい。

[28-09-youtube-upload.pdf](#) へのリンク